



市議会だより

かかみがはら

発行

各務原市議会

岐阜県各務原市那加桜町1-69
電話058-383-2001

編集

市議会だより編集委員会



山田寺公園をきれいにするぞ（4月12日・青雲町子ども会）

3月定例会

議会人事	2	市政を問う 一般質問	
主な議案	3	まちづくりミーティングの成果	8
委員会審査	4	ささえあいの家、ふらっと	9
審議結果	6	勤労青少年運動場の再整備	10
市政を問う 会派の代表質問		木曽川周辺整備の事業内容	11
今後の財政運営は	7	市民の声、議会素描	12
消防団の処遇改善を	7		

横山富士雄副議長を選出 監査委員は足立孝夫議員

平成26年第1回定例会（3月定例会）は、2月24日から3月24日までの29日間の会期で開催しました。初日の2月24日には、梅田利昭議員が副議長を辞職したため、横山富士雄議員を副議長に選出しました。また、岡部秀夫議員の監査委員の辞職により、後任の監査委員に足立孝夫議員を選任しました。

そのほか、任期（1年）満了による各常任委員・議会運営委員の選任と委員長・副委員長の互選を行いました。

常任委員会
本市議会では4つの常任委員会を設置しており、行政組織に基づき、分担して専門的に審査します。

議会運営委員会
議会の運営や議会の会期、議長の諮問に関することなどを審査します。

◎藤井國雄、○川嶋一生、黒田昌弘、波多野こうめ、杉山元則、岡部秀夫、古田澄信
(◎委員長、○副委員長)



監査委員
足立孝夫



副議長
横山富士雄



議長
神谷卓男

民生消防常任委員会



横山富士雄



○瀬川利生



◎池戸一成



三丸文也



神谷卓男



波多野こうめ

総務常任委員会



津田忠孝



○仙石浅善



◎梅田利昭



三和由紀



足立孝夫



吉岡健

建設水道常任委員会



黒田昌弘



○大竹大輔



◎岡部秀夫



古田澄信



杉山元則



永治明子

経済教育常任委員会



五十川玲子



○岩田紀正



◎川嶋一生



藤井國雄



坂澤博光



水野盛俊

平成26年度一般会計予算

422億4000万円を可決

「子ども・子育て」の分野を特に充実

市長から提出された議案は、平成26年度一般会計予算をはじめとする36案件で、委員会、本会議を経て、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

平成26年度予算編成方針

平成26年度は、「幸せを実感できるまち」の実現に向け、「誇り」「やさしさ」「活力」を3本の柱として各種事業を積極的に展開していきます。

現在、平成27年度からスタートする新たな総合計画の策定を進めており、平成26年度は、この総合計画を羅針盤とするまちづくりに向けた「礎の年」と位置付けました。

当初予算では、各世代、各分野の方々との対話から得られたアイデアに広く耳を傾けた結果、「未来を担う子どもたちの健やかな成長のため」「未来への投資」の観点から、特に「子ども・子育て」の分野に力を入れ、20の新規・拡充事業を盛り込んでいます。

市民一人一人の声が形になっていくまちであり、皆様と一歩一歩着実に、「幸せを実感できるまち」の実現を目指します。

平成26年度の
主な新規事業

●一般不妊治療助成事業

人工授精を含む保険適用外の一一般不妊治療に対して、自己負担額の2分の1（年間上限5万円）を通算3年間助成する。

●ごんぼ積み地区都市再生整備事業

川島地区の北山町と渡町の「ごんぼ積み地区」の歴史的町並みの保全、災害時などのアクセス性を向上させるための道路と排水路などを整備し、歴史的資源と共存した良好なまちづくりを5年間で行う。

●ヤング健診事業

職場などで健診を受ける機会がない18歳から39歳の方を対象に、特定健康診査に準じた健診を受ける機会を提供し、将来を担う若者の健康づくりを支援する。

●学童保育室延長保育事業

利用者のニーズに応え、学童保育室の延長保育を1時間延ばし、19時まで実施する。

また、長期休暇時などは開始時間を30分早めて、7時30分からとする。

●防犯灯LED化事業

市が設置し、各自治会が管理している蛍光灯タイプの防犯灯約9千基を、国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用し、LEDタイプの防犯灯へ全面的に交換する。

●ふれあいバス見直し事業

市民が主体となり、公共交通の見直しにかかわっていくために、ふれあいバスの見直し状況や他市の取り組み事例を学ぶ「公共交通フォーラム」を開催する。



雄飛ヶ丘第2住宅

●市営住宅耐震補強事業

国土交通省の社会資本整備総合交付金を活用し、市営住宅の耐震補強工事を順次行っていく。平成26年度は、雄飛ヶ丘第2住宅（A棟・C棟）の耐震補強計画を策定する。

●理科教育充実事業

科学的思考力をはぐくむための環境整備として、理科の観察や実験を支援する補助員（サイエンスアシスタント）を各小学校に配置する。

また、大型モニターと書画カメラを全小中学校の理科室に配備する。

委員会審査



総務常任委員会

平成26年度一般会計予算

(所管分)

▼問 まちづくり活動助成事業の助成対象者と活動の内容は。

▽答 市内で活動する一般市民団体やNPO団体など、5人以上の団体で会計や会則、年次計画を持つことが要件である。

広く市民に開かれ、地域や社会に貢献する活動が助成対象となる。

▼問 まちづくり活動補償事業のメリットは。

▽答 今まで保険加入していないボランティア団体の公益活動にも広く補償制度が適用されるため、市民がまちづくり活動に安心して積極的に取

今期定例会に提出された各案件を詳しく審査するため、3月13日から18日までの4日間で、委員会を開催し、審査を行いました。各委員会での主な質疑内容は次のとおりです。

り組むことができる。

▼問 若者選挙啓発グループ発足事業について、グループ人数と検討事項の内容は。

▽答 平成26年度は、公募や大学などからの推薦により、学生や社会人10人程度で発足させたい。選挙に関する勉強会や先進地への視察などを通して、グループの輪を広げていきたい。

検討事項は、グループ名や規約、具体的な活動内容であり、基本的に若者の自主性に任せ、継続的な支援をしていく。

▼問 市民カメラマン事業の新たな取り組みは。

▽答 市民カメラマンには、ボランティアで市内の各種イベントに出向いてもらい、ウェブサイトなどのイベントを紹介す



イベントの様子を撮影する市民カメラマン

るコーナーの写真を撮っている。

平成26年度からは、広報紙に市民カメラマンが撮ったイベントの写真を掲載するとともに、カメラマンの活動を紹介しながら、市のいいところをPRしていく。

部設置条例の一部改正

▼問 都市戦略部と総務部を市長公室、企画総務部、市民部の3つに再編

した理由は。

▽答 市長公室は市民と連携したまちづくりを進めるために設置するものであり、市民部は窓口サービスを一つの部とすることが主な理由である。

同時にスリム化した総務部と都市戦略部を企画総務部にまとめ、効率的で効果的な管理運営をしていく。

経済教育
常任委員会

平成26年度一般会計予算

(所管分)

▼問 寺子屋事業の詳しい内容は。

▽答 各務原ものづくり見学事業・ふるさとの歴史発見事業・基礎学力定着事業の3つを総称して各務原寺子屋事業としており、市の政策と結びつけながら、子どもたちを支えていこうとするものである。

▼問 「国際福祉機器展 H・C・R・2014」に出展を予定している企

業数は。

▽答 国際福祉機器展は平成25年も実施されており、来場者が10万人を超えるイベントである。

市が出展するのは今年が初めてで、4区画分の出展面積を予定している。

1区画当たりの企業数には規定がないため、出展企業の状況に応じて企業数を検討していく。

▼問 航空宇宙科学博物館リニューアル基本構想策定事業の内容は。

▽答 博物館のリニューアルに向け、市として博物館をどういう位置付けにするか、1年かけて検討していきたい。



航空宇宙科学博物館

民生消防 常任委員会

平成26年度一般会計予算 (所管分)

▼問 消費税率引き上げの影響を緩和するために低所得者に支給される臨時福祉給付金は、申請の手続きが必要だが、市役所まで足を運べない方などへの対応は。

▼答 郵送でも申請できるようにする予定である。

また、電話などにより相談ができるように、コールセンターのようなものを検討している。

▼問 生活保護世帯数増加の要因は。

▼答 2月現在の生活保護世帯526世帯のうち、56・7%に当たる298世帯が高齢者世帯であり、世帯数・構成比率ともに年々高くなっている。

高齢者世帯の多くは年金収入のみで、新たな収入が見込みにくいため、いったん生活保護になる

と自立が難しいことから、増加につながると分析している。

▼問 生活困窮者自立支援モデル事業はどのように進めるか。

▼答 県のモデル事業として他市に先駆けて取り組むもので、まず相談事業を行っていく。

▼問 子宮頸がん予防接種の公費助成は継続するのか。

▼答 国で検討中だが、現在も定期接種であるため予算計上している。

▼問 新たに出産後の1カ月健診を助成対象に加えるきっかけは。

▼答 助産師会とのまちづくりミーティングがきっかけである。

妊娠から出産、子育てまで切れ目のない育児支援策として、産後ケアの一つとして行う。

学童保育室条例の一部改正

▼問 夏休み期間、学童保育室の保育料を増額する理由は。

▼答 これまで保育料は、年間通して月4千円とし



蘇原第一小学校学童保育室の様子

てきたが、夏休み期間は保育時間が長く、指導員の増員やおやつ代が必要のため、7月を6千円、8月を8千円とする。

▼問 ひとり親家庭の保育料減免の内容は。

▼答 市民税・所得税が非課税の世帯は、新たに半額免除とする規定を設けるものである。

建設水道 常任委員会

平成26年度一般会計予算 (所管分)

▼問 平成26年度に市内の防犯灯をすべてLEDタイプに交換するが、ど

れくらい電気代の削減が見込めるか。

▼答 現在の蛍光灯の電気代は1基当たり年間で3千円程度だが、LEDにすると約半分になると見込んでいる。

▼問 墓地管理料の滞納状況と対応は。

▼答 墓地管理料は3年ごとの支払いであり、過年度分の滞納件数は、平成19年度分が2件、平成22年度分が15件となっている。

督促状の送付や自宅訪問などにより、滞納解消に努めている。

▼問 ブロック塀撤去補助事業費を増額する理由は。

▼答 通学路と避難経路のブロック塀撤去の補助割合を、2分の1から3分の2へ増やしたためである。

ウェブサイトや広報紙などでPRに努めたい。

▼問 新加納地区都市再生整備事業は、どのような整備を行うのか。

▼答 既に計画を立て整

備中であるが、整備の目的は主に3つある。

一つ目は、新加納地区は江戸時代、中山道の立場であつたため、歴史的な街並みの再生や景観的な風景を行うこと。

二つ目は、狭い道路が非常に多く、歩行者と車が錯綜して危ないため、通学路や新加納駅からイオンへ向かう道路などの歩行者空間をカラー舗装にすること。

三つ目は、移転予定の鍋屋バイテックを中心とした区画整理事業への補助と、そこから周辺の幹線道路へ抜ける道路の整備を行うことである。



新加納地区の再生整備

審 議 結 果 (3 月定例会)

○議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○監査委員の選任(足立孝夫氏)	原案同意	全会一致
○平成25年度一般会計補正予算(第6号)	原案可決	賛成多数
○平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	賛成多数
○平成25年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	賛成多数
○平成25年度下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
○教育委員会委員の任命(大友克之氏)	原案同意	全会一致
○監査委員の選任(松村昌明氏)	原案同意	全会一致
○公平委員会委員の選任(前田勘次氏)	原案同意	全会一致
○人権擁護委員候補者の推薦(梶原上氏)	原案同意	全会一致
○平成26年度一般会計予算	原案可決	賛成多数
○平成26年度国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
○平成26年度介護保険事業特別会計予算	原案可決	全会一致
○平成26年度後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
○平成26年度下水道事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
○平成26年度水道事業会計予算	原案可決	賛成多数
○部設置条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○緑の基金条例等を廃止する条例	原案可決	全会一致
○行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○公共駐車場条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○出張所設置条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○学童保育室条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○社会教育委員条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○体育施設条例等の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○青少年問題協議会設置条例を廃止する条例	原案可決	全会一致
○道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	賛成多数
○総合計画基本構想	原案可決	賛成多数
○公の施設の指定管理者の指定(朝日コミュニティセンター)	原案可決	全会一致
○平成25年度水道事業会計資本剰余金の処分	原案可決	全会一致
○市道路線の認定(市道川4031号線ほか1路線)	原案可決	全会一致
○国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○国に対し消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	賛成少数
○特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出についての請願	不採択	賛成少数
○特定秘密保護法の強行に抗議し廃止を求める意見書を求める請願	不採択	賛成少数
○雇用の安定を求める意見書の提出を求める請願	不採択	賛成少数
○教育委員会委員の任命(加藤壽志氏)	原案同意	全会一致
○議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	全会一致
○介護保険要支援者への保険給付の継続を求める意見書	原案否決	賛成少数
○常任委員会の閉会中の継続調査	可決	全会一致

市政を問う 会派の代表質問

3月10日に各会派の代表質問を行いました。

政和クラブ・川嶋一生、市議会公明党・黒田昌弘

※代表質問は、各会派の政策・主張に基づき市政に関して質問をするもので、各会派で作成された原稿を掲載しています。

平成26年度当初予算編成

特徴と今後の財政運営は

和
政
ク
ラ
ブ

▼問 市長就任以来、初の本格的予算編成への意気込みや特徴は。

▼答 平成26年度は、新たな総合計画を羅針盤とするまちづくりに向けた「礎の年」であり、市民の声が着実に形になっていく新しい各務原が始まる。

未来への投資として、「子育て環境充実事業」や「各務原寺子屋事業」など20の新規・拡充事業を展開し、「子ども・子育て」の分野に特に力を入れた予算としている。

▼問 当初予算編成で見てきた今後の課題は。

▼答 市民の意識や価値観が多様化し、地域の課題が複雑化する中、対処すべき課題が多くあるとあらためて実感した。

本市が直面している課題解決のヒントは市民の中にあると強く感じ、今後も市民の声を重視する

姿勢を継続していくことが、問題解決の近道であると認識している。

▼問 今後の健全財政に向けた取り組みは。

▼答 総合計画の策定の中で、さらに徹底した既存事業の見直しや、税などの滞納処分の一元化に向けた調査研究にも着手するなど、不断の行財政改革により、さらなる財政体力の維持向上に努める。

▼問 市長の学校教育に対する思いは。

▼答 市民に「各務原で学ばせたい、学ばせてよかった」と思っていただけ、子どもたちが「明日も行きたい」と思えるような学校を目指す。

また、未来を担う子どもたちが将来に対する大きな志を持てるようにすることが、私の使命であり、大人の役目であると考えている。

消防団の処遇改善を

退職金等の条例を早期改正し増額の意向

会
議
明
市
公

▼問 消防団員の年額報酬と出勤手当は。

▼答 各務原市消防団員の年額報酬は、団員2万1500円で、役職により規則で決まっている。出勤手当に当たる費用弁償の日当額は1500円である。

▼問 退職金や出勤手当などの変更には条例等の改正が必要となるが、今後どのように考えているのか。

▼答 消防団員の活動に報いるためにも、手当の増額が必要と考える。

退職金の増額については平成26年度早々に、また出勤手当も、国や県の意見を参考に、消防団と調整し平成26年度中に条例改正したい。

▼問 投票率向上のため期日前投票の宣誓書をダウンロードできるようにしたり、入場整理券の裏にも宣誓書を印刷した

りする考えは。

▼答 投票率向上の有効な手段の一つと考え、他市を参考にしながら、来春予定の選挙から実施できるよう今後検討する。

▼問 若者選挙啓発グループ発足事業の目的は。

▼答 市内大学との連携などにより、グループの核となる人材の養成を行う。

若者らしい自由な発想で行う自主的な選挙啓発活動に支援をするもので、特に若い世代の投票率向上を期待するものである。

▼問 臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の周知方法は。

▼答 国が行うテレビCMや新聞広告、市の広報紙やウェブサイトで周知するほか、対象になると思われる方へ、給付金の説明書や申請書を送付するなど、確実に情報が伝わるように努力する。

市政を問う 一般質問

3月10日から12日までの3日間で一般質問を行いました。
質問をした議員は次のとおりです。(発言順)

瀬川利生、波多野こうめ、坂澤博光、津田忠孝、三丸文也、永治明子、
岡部秀夫、杉山元則、三和由紀、吉岡健、五十川玲子、大竹大輔、
岩田紀正、仙石浅善

まちづくりミーティングの成果は

できる限り具現化し、今年度予算に反映

▼問 まちづくりミーティングの成果は。

▽答 市民と市長が市政に関して語り合う場として11カ所で延べ108人と対話を行ったが、そこから得られたアイデアや意見をできる限り具現化

し、平成26年度予算に盛り込んだ。

皆さんが本市の将来について熱心に考えていただいていることを肌で感じる事ができ、励みになった。

▼問 市長と若手・中堅職員が意見交換を行う職員ミーティングの成果は。

▽答 人事や研修、執務環境の改善をはじめ、イベントのあり方、市の活性化、新たな施策の提案など、市政全般に対する幅広い意見が出た。その中で、効果が見込まれるものについては、既に実施している。

▼問 市長への提案箱設置事業の内容は。

▽答 より多くの市民の声を伺うために、提案箱を市内の公共施設28カ所に設置する予定である。すべての提案に市長が目を通し、担当課に回答の指示をする。

自治会活動

▼問 自治会で使用する用具の購入に対し補助しているが、今後さらに拡大する考えは。

▽答 平成26年度からは、美化・安全活動に加え、自主防災活動を促進するため、防災資機材を補助対象とするともに、補助金の上限額を2万円から4万円に引き上げる。また、今後は活用実績



自治会活動（雄飛ヶ丘公園）

や自治会からのさまざまな意見を伺いながら、対象となる用具・資機材の見直しをしていく。

▼問 自治会集会施設の建設などに対する補助は、平成26年度からどのような拡大するのか。

▽答 新築・改築については、補助率を従来の2分の1から3分の2に、補助限度額を600万円から2000万円に引き上げる。

▼問 総合防災訓練の実施時期と訓練内容は。

▽答 主会場の訓練は10月初旬に1会場で、副会場の訓練は6月の3週に分けて、17会場での実施

を検討している。
訓練内容は、炊き出し訓練や搬送訓練に加え、AEDを使った応急手当訓練などを行う。

行政評価

▼問 新たな行政評価の取り組みを開始しては。

▽答 行政サービスの評価は、予算の執行率や事業の進捗度だけでなく、事業目的に対する市民の満足度を基準にすることも必要と考えている。

現在策定中の新しい総合計画では、事業がどれだけ進んだかという客観的な指標に加え、市民の意識がどう変化したかという主観的な判断基準を設ける。

さらに、市民が満足しているか、事業目的がニーズに合っているかなどを把握するために、定期的にアンケート調査を行い、その結果を公表していく。

「ささえあいの家」「ふらっと」の活用状況は

さまざまなイベントで大勢の利用



ささえあいの家（つつじが丘）

▼問 地域コミュニティの活動拠点として、空き家を利用し開設された「ささえあいの家」と「ふらっと」の活用状況は。

▽答 両施設とも月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで、地域のボランティアスタッフが当番で常駐し、さまざまなイベントが行われている。「ふらっと」では、幼児を対象としたイベントやおもちゃを直す「おもちゃ病院」などが行われ、

開所以降3カ月で千人を超える利用があった。

また、「ささえあいの家」では、パソコン相談やヨガ体験講座などが行われ、開所以降2カ月で600人を超える利用があった。

自宅に引きこもりがちだった高齢者から「ここでは毎日ここに来ます。」といったうれしい声も頂いている。

▼問 さらに活動拠点を増やしていくことが必要と考えるが、本市の考えは。

▽答 現在、市内には常設型の活動拠点の「ふらっと」と「ささえあいの家」2カ所のほか、公民館などの集会所で定期的に開催するボランティアハウスが7カ所ある。今後新たな常設型の活動拠点の開設に向け、他の地域住民に積極的に働きかけていく。

地域包括ケアシステム

▼問 地域包括ケアシステムの実現に向けて、課題となる医療や介護との連携の取り組みは。

▽答 県医師会では、平成25年度から3年間で県内すべての地域に24時間365日体制で在宅医療と介護を提供するため、地域在宅医療連携推進事業を行うこととしており、市医師会では平成26年1月から、この事業のプロジェクトチームを立ち上げている。

メンバーには、市歯科医師会や薬剤師会、民間福祉団体などを含む関連団体が参加しており、市もメンバーとして参加し、在宅医療の推進に取り組んでいる。

▼問 本市の地域包括ケアシステムの事例は。

▽答 平成25年度に「かみがはら安心ねっとわく事業」がスタートし

た。

これは市民の安否確認や行方不明者の早期発見などを行うネットワークで、民間事業者などの協力を得て、市民を包括的に見守るシステムである。既に各務原金融協会や生活協同組合コープぎふと協定を結んでおり、3月12日には、市内大手新聞販売事業者5社とも協定を結ぶ予定である。

がん検診の受診率向上

▼問 乳がん、子宮がん検診の受診率向上への取り組みは。

▽答 受診率向上に向けて、平成21年度から特定の年齢の方へ無料券を配布したところ、平成24年度の検診受診率は平成20年度に比べそれぞれ倍近く増加し、効果があつた。

▼問 がん検診個別受診勧奨制度（コール・リコール）による受診率向上への効果は。

▽答 平成23年度からは、無料券を配布（コール）しても受診されない方へ再勧奨（リコール）も行っている。

平成24年度の検診受診者のうち、リコールにより受診した人数は、乳がん検診受診者338人、子宮がん検診受診者690人となっており、無料券のコール・リコールの取り組みは受診率向上に一定の効果がある。

新たな国際交流都市

▼問 新しい国際交流を模索しては。

▽答 新たな交流都市を選定するには、まちづくりに対する考え方や、人口規模、産業構造、治安状況、英語圏であるかなど、さまざまな角度から検証する必要がある。

議会と歩調を合わせながら、新たな国際交流都市の選定に向け検討していく。

勤労青少年運動場の再整備

平成26年度以降3年間で完成予定

▼問 勤労青少年運動場の再整備を行うが、利用者からの声はどのように反映したのか。

▼答 市内の各種団体から利用状況や要望を聞き、利用しやすいように競技場の再配置をする。

勤労青少年運動場は河川敷であるため、移動可能な工作物しか施工できないなどの特別な事情があり、理解をいただきながら各競技の基準に合った施設としていく。

▼問 平成26年度以降の整備計画の内容は。

▼答 3年計画で整備を行っていく予定である。

平成26年度は、全天候型の400メートルトラックと天然芝のフィールドを備えた陸上競技場をはじめ、軟式野球場2面、少年野球場1面、少年サッカー場1面を整備していく。

平成27年度はソフトボール場、平成28年度は芝生広場や駐車場などの整備をしていく予定である。

教育環境の充実

▼問 ICT(情報通信技術)を取り入れた教育の現状と課題は。

▼答 現在、小中学校それぞれ1校をモデル校に定め、タブレットパソコンやデジタル教科書などを導入し、授業の狙いを達成するための道具として効果的に活用できるか研究している。

課題は、ICT機器の設置や移動などに時間がかかることや、機器が作動しないなどのトラブルの際、すぐ授業で使用できないことが挙げられる。

▼問 今後の導入計画は。

▼答 平成26年度は小中学校1校ずつモデル校を増やすほか、全小中学校の理科室に大型モニターと書画カメラを導入する。

▼問 KET(外国人英語指導助手)の増員により期待される効果は。

▼答 平成26年度からKETを現在の4人から12人に増員することにより、小学校では英語でのコミュニケーションの楽しさを体験させ、中学校では日常的に英語に触れ、英語を使わなければならない状況を多くする。KETと英語で接すること、簡単な情報や考えを伝え合う力を養うこと



KET による授業風景

とを期待している。

▼問 特別支援教育巡回相談事業による効果は。

▼答 平成23年度から全小中学校で前後期2回の特別支援教育巡回相談を行い、教員は専門家のアドバイスを受けてきた。

平成25年度もアドバイスを基に、児童生徒一人一人の相談にじっくり時間をかけながら、きめ細かな支援を継続した結果、相談を受けた児童生徒のほとんどに改善や成長が見られた。

▼問 図書館で借りた本の貸出日、タイトル、著者名、本の値段などを記録する「読書通帳」を導入する考えは。

▼答 児童生徒の読書意欲の向上につながるため、活用していきたい。

イオンモールの増床

▼問 イオンモール各務原の増床に伴い、周辺の生活道路などでも交通量

が増加すると思われるが、その対策は。

▼答 道路改良の検討や警備員の配置によるスムーズな交通誘導の実施など、十分な安全対策をとるようイオン側に指導している。

▼問 イオン周辺の農地に増設される駐車場の雨水排水対策は。

▼答 現在の店舗や駐車場の敷地は、雨水調整機能を持たせた構造となっている。

新たに設置される駐車場についても下流河川の負担を軽減するために、透水性のある舗装にする」と聞いている。



イオンモールの周辺の様子

木曽川周辺整備の事業内容は

地勢や歴史を楽しむことができる拠点へ

▼問 前渡地区の木曽川周辺整備基本計画策定事業の目的は。

▽答 基本計画策定事業の位置には、上流に前渡不動山、下流に各務原大橋や勤労青少年運動場、南側に木曽川がある。

この木曽川流域の地勢や歴史を楽しむことができる拠点整備を目的に計画の策定を行う。

▼問 計画策定に当たり調査する範囲と面積は。

▽答 調査範囲は浄化セ



浄化センター周辺

ンター西端の未利用地で、堤防上段約2ヘクタールとその南の河川敷約8ヘクタールを想定している。

▼問 調査した土地は、どのような土地利用を考えているか。

▽答 今回の計画区域のうち河川敷は、軽スポーツなどができるアウトドア施設と敷地東側にあるビオトープを活用した散策路の整備が考えられる。

平成28年度までにスポーツ交流拠点として、全面リニューアルする勤労青少年運動場との整合性を図るよう検討していく。

▼問 敷地内に道の駅を建設する考えは。

▽答 堤防上段部分は一般的な道の駅にあるような物品販売やレストランなどの食事の提供は考えていないが、管理施設や駐車場、トイレなどは必要だと考えている。

▼問 土地利用や計画に地元住民の意見は反映されるのか。

▽答 地元の方だけでなく、広く市民の意見や要望を聞く機会を設け、計画に反映していく。

土砂災害対策

▼問 土砂災害対策の現状は。

▽答 土砂災害警戒区域については、円滑な警戒避難のための情報伝達方法や、避難地に関する事項を地域防災計画に定めるとともに、ハザードマップを配布し、周知している。

土砂災害特別警戒区域については、それらに加え、建築物の構造規制や開発行為に対する安全対策工事が、技術的基準を満たしているかを確認して許可するという措置をしている。

▼問 土砂災害対策の今後の方針は。

▽答 市民の生命と財産を守るため、制度の周知と運用を図っていく。

一方で土砂災害の防止工事には多額の費用が掛かることや、実際に事業を進めるとなると受益者負担を伴う場合があるため、地元住民の意向と事業主体である県の意見を踏まえながら検討していきたい。

新愛岐大橋建設の状況

▼問 愛岐大橋は朝夕の渋滞がひどく、一刻も早い新愛岐大橋の建設が望まれているが、現在建設予定地で行われているボーリング調査の状況は。

▽答 調査は、施行主体の岐阜県が平成25年11月から13力所で行っており、調査期間は、平成26年4月までの予定と聞いている。

▼問 調査後の設計や建設工事の予定は。

▽答 県は平成26年度に



渋滞する愛岐大橋

橋梁の詳細設計を行い、河川区域内で橋梁の建設工事を行うための協議を河川管理者と行う予定であるが、工事の時期は確定していない。

市としては、早期完成に向けて、近隣市町で構成する協議会を通じ、岐阜県と愛知県に対して要望していく。

▼問 愛知県側(扶桑町)の地域住民の反応は。

▽答 平成25年8月に関係地区の区長などに説明するとともに、地域住民の理解を求めて回覧文書により周知を行ったが、苦情などはなかったとのことである。



こんな街がいいな！

～わたしたちの夢、願い～

市制50周年に思う



鵜沼三ツ池町
鈴木 克治さん

本市に住んで50年になります。工務店で働き、約千件の住宅の建築に携わってきました。

市の発展に少しは貢献できたと誇りに思っています。

自身の体力保持を考えて、5年ほど前から炉煙遺跡保存会や環境美化監視員のボランティア活動をしています。

地域の公園や公民館の駐車場等の草刈り、落ち葉かき、生け垣の剪定などを行います。

地域の人たちとの交流も生まれてきました。働くことの達成感が喜びであり、楽しみでもあることを知りました。

今後でもできる限り長く元気で続けたいと思っています。

不思議な名前の輝く街



三井町
岩井 晴美さん

私の不思議。かかみがはら？かがみはら？どれも正解？（笑）

各務原という地名の由来は、古代に鏡職人の集団がいたことからとされ、鏡→かかみ→各務になったとの説があるそうです。

仕事の関係で市内の学校に伺うことが多いのですが、この土地柄なのか、先生も子どもたちも温かくて伸び伸びしています。

私たちが未来ある子どもらの手本になれるように頑張らねばと思う今日このごろです。

そして地名の由来でもある鏡のように、まんまの姿で人も街も輝き続ける「かかみがはら」であってほしいと思います。

ハンディが気にならない街



那加雄飛ヶ丘町
松本 美智香さん

私の子どもには障がいというハンディがあります。

それでも住み慣れた地域で暮らしていったほしいし、本人もそうしたいと願っています。

障がいはあるけれど、苦手なことをサポートしてくれたり、声をかけてくれたりする人がたくさん増えてくること。

地域社会に障がいに対する偏見がなくなり、理解してくれる人たちが増えることで、住みやすい、生きやすい街へつながっていくと思います。

障がいを持つ人たちが、たくさん笑顔になれば、安心して暮らせる街にしたいと思います。

市議会を見にきませんか？

平成26年6月定例会の日程（予定）

6月 6日	本会議 開会
6月18日・19日	本会議（質疑・一般質問）
6月23日・24日	常任委員会
6月27日	本会議 閉会

- ※日程は議事の都合により変更になる場合があります。
- ※ウェブサイトで本会議の生中継や過去の録画映像をご覧いただくことができます。

議会素描

▼市民との対話を重ねた浅野市長。「誇り・やさしさ・活力」3つの柱で初の本格予算を編成。

▼新年度予算は、子ども・子育て分野に力点。未来への投資に期待したい。

▼懸命な姿の「トリ」の質問。終わるやいなやわき起こる拍手？

▼緊張しながらの質問席。落ち着きを見せるころにはもう終盤。

▼3日間に及んだ一般質問。既に質問を終えた議員はどこか表情も涼しげ。

▼市議会だより編集委員会。少しメンバーが入れ替わり、初めての発行。うまく編集できたかな？

市議会だより編集委員会
委員長 水野盛俊
副委員長 坂澤博光
委員 五十川玲子
委員 岩田紀正
委員 仙石浅善
委員 池戸一成



▼熱の入った質問に議場の空気も暑くなった。これは気候のせいじゃないよね……

▼花粉症に苦しむこの季節。議場内でもティッシュが手放せない。へークション！

▼市議会だより編集委員会も少しメンバーが入れ替わり、初めての発行。うまく編集できたかな？



環境保護のため植物インキを使用しています。